

# 1. エンジニアリング企業のTPM活動(評価項目の視点)

1. 高度な技術サービス
2. 効率的な進捗管理
3. 的確な技術情報の活用
4. 役に立つ人材の育成
5. ロス・コストの把握

## 2. エンジニアリング賞 評価項目

1	TPMの方針と目標	①会社方針と活動方針の関係が明確であり、全員に周知されているか
		②活動方針と目標が展開されて、進捗管理されているか
		③コストと利益の関係が明確にされているか
		④企業戦略(何をどう変えるか)のビジョンが明確になっているか
		⑤CSを考えた方針になっているか
2	効果と評価・総括	①適正な利潤を確保したプロジェクトが遂行されているか
		②競争力強化により、受注件数・受注額ともに目標を達成しているか
		③業務改善が進み全体最適の仕組みができていますか
		④経営全般からみたTPMの評価が明確で効果がでているか
		⑤無形の効果として、人の体質改善と明るい職場作りができていますか
		⑥休業災害、公害はゼロを維持し、環境への取り組みも十分であるか
3-1	安全	①安全・環境について会社の方針が現場まで浸透しているか
		②職場環境保全(騒音・臭気・照明などの対策)が行われているか
		③災害ゼロ・公害ゼロが徹底し、地球にやさしい工場となっているか
		④安全・衛生・災害防止の対策ができていますか
3-2	自主保全(計画保全)	①教育体系が整備されているか
		②自主保全活動がステップ方式で展開されており、管理者による診断が適切に実施されているか
		③各小集団、職場単位、事業所単位の活動状況、評価指標、今後の課題が分かる仕組みができていますか
		④不具合を見つける力が養われ、不具合の摘出と復元および小改善を多数行っているか
		⑤すべての部門で5Sがなされているか
		⑥目で見える管理が徹底しているか
		⑦ワンポイントレッスンが整理され、教育用に十分活用されているか
		⑧計画保全の活動がなされているか
		⑨オフィス環境が充分整備されているか
3	3-3 教育訓練	①事業の環境ニーズ、自社の将来計画に基づいた人材育成方針が明確に示されているか
		②職種・階層別に必要な知識・技能のレベルと現状とのギャップが把握されているか
		③座学・OJT・社外教育などを組み合わせて必要な知識・技能を身に付けさせる仕組みができていますか
		④職種・階層に応じたコスト意識、納期遵守意識、品質保全意識、安全衛生意識、環境保全意識を植え付ける仕組みがあるか
		⑤各業務に必要な資格・免許の保有者は十分であり、それらの取得を奨励する仕組みがあるか
3-4	技術開発	①技術開発のシーズとニーズを正確に把握しているか
		②最新のシーズとニーズの入手の仕組みができていますか
		③技術開発のテーマが自社の将来計画に結びついているか
		④プロジェクト進行中に発生した技術的問題を効率よく解決する仕組みができていますか
		⑤自社技術の蓄積と有効利用が行われているか
3-5	MP情報管理・個別改善	①MP情報を自社内だけでなく、客先からも収集する仕組みがあるか
		②MP情報をプロジェクトの受注・見積・設計・調達・製造・施工・納入・引渡に活用する仕組みができていますか
		③潜在的トラブルの特定・評価ができていて、それを回避する方法、その影響を低減する方法が把握されているか
		④プロジェクトのコストとロスの関係が明確に把握されているか
		⑤ロス項目ごとに改善チームが編成されて活動し、成果を上げているか
		⑥業務の標準化、プロジェクト管理の標準化を進めているか
		⑦WBS、巻紙分析などにより業務の改善が行われているか

4	プロジェクト マ ネ ジ ン ト	4-1 プロジェクト 全体について	①プロジェクト全体を考えた納期管理システムが構築されているか ②納期の見える化を実現しているか ③プロジェクト全体を考えたコスト管理システムが構築されているか ④コストの見える化を実現しているか ⑤マルチプロジェクト管理による「手空きロス」の低減が計られているか ⑥設計変更回数が、改善されているか ⑦納入/引渡し後の垂直立上げに対して、分析して設計活動を行っているか ⑧フェースマネジメントが考えられているか
		4-2 実績・受注 見積	①見積もり精度は、目標値に達したか ②データベースの整備等により見積もり工数の低減がはかられているか ③改善により、業務の効率化がはかられているか ④WBS. 巻き紙分析等の改善手法を利用しているか ⑤CR・DRを行って競争力のある見積り活動を行っているか ⑥予算どおりの受注が獲得できているか ⑦受注業務の標準化は、できているか ⑧計画どおり受注が進んでいるか ⑨ポートフォリオ等による市場商品のねらいを明確にしているか ⑩市場情報を開発部門へ流し、商品開発へ繋げているか ⑪客先との契約をきちんと行っているか
		4-3 設計	①MP情報システムが機能して、効率良く運用されているか ②設計技術が蓄積されているか ③設計データが整理され効率運用されているか ④DRがきちんと行われているか
		4-4 調達	①予算にあわせた、グローバルな調達が、システム化されているか ②調達リスク等の考え方が明確にあり、調達ロスの低減がなされているか
		4-5 製造・施工	①清掃・給油・増し締め・点検等が確実にこなわれているか ②安全管理に対する方針が明確になっていきちゃんと履行されているか ③自社設備および施工における個別改善が計画どおり進んでいるか ④作業標準が整備されているか ⑤施工技術の蓄積が進んでいるか ⑥個別プロジェクトの設計要件及び、図面内容を理解し実施しているしくみが見えるか ⑦外注管理が工夫されているか
		4-6 納入/引渡	①初期管理システムが確立しているか ②手直し費用のゼロ化がなされているか ③納期が遵守されているか ④個別プロジェクトの設計要件及び、図面内容を理解し実施しているしくみが見えるか
		4-7 総括	①受注・失注の原因解析が各業務内容ごとに行われ、改善に繋いでいるか ②予算超過の原因解析が各業務内容ごとに行われ、改善に繋いでいるか ③納期遅れの原因解析が各業務内容ごとに行われ、改善に繋いでいるか ④品質不良、追加・手直し工事、客先クレームの原因解析が各業務内容ごとに行われ、改善に繋いでいるか
		5	継続性 定着性